

茅ヶ崎セントラルクリニック

熊澤 有紀(看護助手 / 看護部)

功 績	透析患者を温かく支える明るい笑顔と心のこもったバースデーカードで、組織目標の達成に大きく貢献した功績
推 薦 者	若林陽盛(事務長)
推 薦 理 由	毎月必ずルーティーンとしての業務として行うバースデーカードの作成を、感謝のお手紙を頂戴するとともに、組織目標の達成に繋げ、かつ自らその目標自体をしっかりと意識しているところが理事長賞に相応しいと考え推薦いたします。

内 容

このたび理事長賞の候補者として、勤続4年目・47歳の看護助手である熊澤を推薦いたします。熊澤はいつも明るい笑顔で患者さんと接し、その温かい人柄から職員内でも非常に慕われています。当クリニックでは透析患者さんのお誕生日に手作りのバースデーカードを贈る取り組みを行っており、看護助手が交代で作成し、2名でお渡ししていますが、熊澤のカードは特に評判が高く、「熊澤さんに作ってほしい」と指名が入るほどです。

今月、熊澤が制作したバースデーカードを受け取った患者さんから、感謝のお手紙をいただきました。その手紙にはカードに込められた心遣いへの感動が綴られており、熊澤の真心が患者さんの心に大きく響いたことがうかがえます。実はその患者さんは、以前熊澤に直接「透析はあまり好きではないけれど、熊澤さんのバースデーカードをもらうのが本当に楽しみだから1年頑張れちゃう」と伝えていたそうで、透析という負担の大きい治療において熊澤の存在が大きな支えになっていることを改めて実感しました。

当院では今期の組織目標の一つとして「患者さんから感謝のお手紙を頂戴すること」を掲げておりましたが、熊澤はその親身な対応によって見事に目標を達成してくれました。患者さんを喜ばせたいという思いを形にし、日々の業務を単なる作業ではなく、相手の心に寄り添う機会へと変えている熊澤の姿勢は、まさに理事長賞にふさわしいと考えます。